

文化財総合的把握モデル事業 中間報告会資料



東京都西多摩郡日の出町作成
平成21年7月3日

御嶽神社

御師

檜山路

御嶽巡礼の道

羽生地区

川北地区

三吉野宿



歴史文化基本構想の最終イメージ

- 保存活用区域の設定
- ①:羽生地区:建造物・卒塔婆生産・年中行事:祭り:里山の景観
- ②:川北地区:里山の景観:豊富な生物相:祭り
- →「野鳥の森構想」との整合性
- キーワード:①御嶽巡礼の道②平井川③サイノカミ④セメント産業

平成20年度連携体制

- (1) 調査住民提案→12提案
- →提案者は調査協力(生物調査・石造物調査)
住民モニターとして本事業に参加・協力
- (2) 住民モニター→5名就任
- (3) 策定委員会に協力する団体→伊奈石の会:
石造物調査と活用策定に協力
- (4) 公聴会の実施→20名参加:住民参加課題

調査の進め方

- 日の出町史で集積されたデータをベースとする
- →①町史で不足している分野を補完する
- →②活用を視野に入れたデジタルデータの集積
- 仏像調査→石造物調査→民俗調査→生物調査
- 建築学調査・景観調査
- 調査データはGISに統合→1次データ
- 構想及び保存活用計画に活用→2次データ
- 活用案に沿って公開→3次データ

日の出町の取組の特徴等

- 従前の調査との相違
 - ①: 活用を前提とした調査
 - ②: 従前の調査で一定の評価が下されているものを除外
 - ③: デジタルデータの保管
 - ④: 調査データをGISに統合し、町全域を鳥瞰する
- → 地区景観との連動
- 事業を進める上での課題
 - 本事業の住民への周知の徹底と、住民参加
 - → 歴史文化基本構想及び保存活用計画への住民意向の反映
- 策定委員からの指摘事項
 - ①: 住民参加の促進
 - ②: 調査成果の統合方法
 - ③: 調査成果の活用と公開方法